

# 東京都社会保険労務士会 会報 千代田・中央支部

事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座8-4-25 小沢ビル5階  
ワヨウ事務所内 03(3574)7572 発行人 渡 和洋  
URL = <http://www.sr-ccs.com>



東京タワー（東京都）

戸室康廣会員撮影

年頭のご挨拶

「若手社会保険労務士 ざっくばらん座談会」

千代田・中央支部 選挙管理委員会報告

平成18年度 千代田・中央支部管外研修報告

ゴルフ同好会報告 ほか



# 年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかな新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

昨年は、11月に次期の支部長を決める選挙があり、吉瀬君江氏が支部長予定者に決まりました。4月18日の支部会議において、今期の支部活動の承認を経て、引き継がれることになります。

支部事業につきましては、会員の皆様、関係行政・関係団体のご指導ご協力により、当初の予定どおり運営できたことに深く感謝申し上げます。

今年は、4月から特定社会保険労務士に裁判外紛争解決手続代理業務（あっせん代理業務）が付与され、また、昨年4月からスタートした、包括委任状方式による社会保険関係手続に係る電子申請の事業主電子署名の省略に加え、今年の4月からは雇用保険関係手続業務についても事業主電子署名の省略が可能となる予定です。

また、平成20年度からは、年度当初の労働保険年度更新業務が社会保険の算定基礎届時期と同じ7月に変更になり、行政機関の再構成により窓口業務も大きく変わってきます。これに伴い、社会保険労務士の業務内容も質的に大きく変化していくことになります。

電子政府構築による行政のスリム化と社会構造の変化は、国民一人ひとりへ情報社会に相応しい対応を求めています。

我々社会保険労務士に付託された社会的使命は、会員一人ひとりがこの変革を正しく認識し、労使関係の新たな調和を生み出す能力を身に付けるとともに、支部長就任時に提案した3Jの理念①自立②自己責任③上昇志向を会員すべての共通認識として、事業の健全な発達と労働者等の福祉の向上に寄与していくことです。

支部HP上からのメールアドレスの登録は、昨年支部会員の3分の2に当たる1,000名を超えるとしています。未登録の方の登録をお願いするとともに、連合会電子認証局からの電子証明書の取得も重ねてお願いいたします。これらは社会保険労務士が今後とも社会の一員として必要な存在であり続けるための必須アイテムです。

会員の皆様の支部事業への積極的な参加をお願いして、年頭のご挨拶といたします。

東京都社会保険労務士会  
千代田・中央支部 支部長

渡邊 和洋



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成14年2月から続いております景気拡大が、昨年11月にはいざなぎ景気の57カ月を超え、戦後最大となりました。さらに、上場企業における平成19年3月期の連結経常利益予想によりますと4期連続で過去最高を更新する模様で、好景気も当分続きそうです。

景気拡大の持続により、平成14年6月に5.5%であった失業率は4%台前半で推移し、新卒採用も旺盛な状況が続いている。

ただ、新卒採用の増加は、今年から団塊の世代が定年を迎えるための穴埋めという理由もあるようです。しかし、一時の不景気時代における正社員から契約社員や派遣労働者へのシフトなど雇用の多様化が進み、好景気による雇用の改善はあるものの、正社員は思ったほど伸びていないのが現状のようです。

本年4月から、改正社会保険労務士法施行により、特定社会保険労務士が扱えることとなる個別労働関係の紛争に係わるあっせん代理については、職域の拡大という意味では歓迎するところですが、一方では、労働相談が増えていく現状から考えますと、人事労務管理の専門家としては、手放しで喜べないところと思います。業務の拡大とともに、経営者に対する、一層の雇用関係改善の方策等を助言し、雇用条件の改善と企業が社会的責任を果たせる環境に誘導していくべきと考えます。

とくに、勤務等会員の多くはそれぞれの企業あるいは事業所において、そこで働く従業員のための人事処遇・健康管理・厚生関係等の業務を司っていますので、個別労働関係の紛争が起こらないようできる限りの対応を図っていく使命を帯びていると考えます。

もちろん、企業の成長発展なくして従業員に対する雇用条件の改善はできないわけですから、企業と従業員両方に対するバランス感覚をもって人事処遇制度の改善に努めていく必要があります。

本年も、会員皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。

勤務等部会長

浅香 博胡



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、初めての支部長選挙が実施され、吉瀬君江さんが当選されました。

4月から、吉瀬新支部長を筆頭とした新しい支部体制が船出します。ぜひとも会員全員で盛り立てていただきたいと願っております。

本誌面をお借りして、昨年の部会活動などの一部をご報告しますとともに、今年の抱負を申し添えます。

#### <研修会・例会>

法律改正や最近問題となっていることを積極的に取り上げ、日々の業務に役立つ研修を企画しました。具体的には、開業部会と勤務等部会の合同研修会として、次のテーマで研修を開催しました。

「最近の労務管理面の実務対応から～人事改革・継続雇用・メンタルヘルス・懲戒～」「高齢者雇用安定法改正に対する各社の取組状況と問題点」「老齢厚生年金の夫婦分割制度について」「若手社会保険労務士ざくばらん座談会」「過重労働と使用者責任について～最近の裁判例から～」

例会では、東京会等からの報告や行政協力者の選任、新入会員の紹介、情報アラカルト(法改正紹介、行政の動き等)などを実施してきました。本年も会員間の情報交換に心がけていきたいと思っております。

#### <行政協力>

臨時労働保険指導員による督励調査、算定相談コーナーの担当、両区役所の区民相談等、支部では様々な行政協力を行っています。昨年5月には「臨時労働保険指導員の心構えと実務ポイント」「年間の行政協力スケジュール」をテーマに研修会を実施しました。

#### <特別研修・特定社会保険労務士>

昨年スタートした紛争解決手続代理業務試験(いわゆる特定社会保険労務士試験)を受験するための特別研修を受講された方は、支部では、300人前後いました。試験に合格された方おめでとうございます。

特別研修を受講していない方も、今年はぜひ受講して試験にトライしていただきたいと思います。特別研修は実務において大変役に立ちます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって幸多き一年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

開業部会長  
半沢 公一



新年おめでとうございます。

一昨年の4月に支部会長に就任いたしましてから、残る任期もわずかになりました。政治連盟へのご理解とご協力を前面に掲げて、会員の皆様方にお願いを申し上げてまいりました。おかげさまで納入率も50%を超えることができ、ホッとしたところです。

昨年は選挙のない年でしたので、組織の強化を年頭に申し上げました。政治連盟は選挙だけが目的でなく、制度改善のために、不可欠の組織であることも同時に伝えました。

残る在任期間中に、東京都社会保険労務士政治連盟と中央地区連絡会と連携をとり、都議会議員との懇談会の実施を企画して

います。身近な問題、とくに学校教育における年金、保険教育の実施について、また都立商業高校で就職をする子供たちに、就業規則や労働に関することについて等を提案して、社会保険労務士の制度と活用について意見交換をしたいと思っております。詳細につきましては、支部ごとにお知らせをしますので、会員皆様方から要望等がございましたら、ぜひ声をお寄せくださいますよう、お願ひいたします。

さて、今年4月には統一地方選挙が、6月には参議院選挙が行われます。私ども政治連盟としては、社会保険労務士制度に理解と協力が得られる候補者を推薦していきます。とくに参議院選挙では、東京都社会保険労務士政治連盟と連携を密に、支援活動を行ってまいります。特定社会保険労務士制度をはじめとする法改正の必要な事項については、国政の場で社会保険労務士法改正への理解と協力が必要不可欠です。選挙のみが政治連盟ではありませんが、法改正には政治家の方々の力が大きく影響いたしますので、皆様方のご理解をお願い申し上げます。

ところで私は、亥年とよく間違えられます。猪突猛進型のところがあるようとして、すぐに走り出しますが、昨年を振り返りますと、まっすぐ前進する心はもちつつも、立ち止まり、周りを見る余裕をもつことの大切さを教えられました。

今年は、支部および支部会も役員改選の年です。「一人は皆のために、皆は一人のために」を信条に、支部運営を進めてまいりますことの決意を申し上げ、年頭のご挨拶といたします。今後とも皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

東京都社会保険労務士政治連盟  
千代田・中央支部 支部会長

吉瀬 君江



# 若手社会保険労務士 ざっくばらん座談会

平成18年10月23日(月) 電設健保会館で行われた開業部会・勤務等部会合同研修会において、最近社会保険労務士登録をされた支部会員4名の方に、社会保険労務士を取り巻く現在の環境と今後について、忌憚なく語っていただきました。

司会 今日は若手社会保険労務士のざっくばらん座談会です。進行は、開業部会の春原さんにお願いしたいと思います。

春原 春原繁です。平成14年5月に開業しまして、今月で4年と6ヶ月になります。では、柏木さんから自己紹介をお願いします。

柏木 柏木寿人です。平成17年の10月、麹町地区に開業登録をいたしまして、今年の10月で丸1年が過ぎました。現在、就業規則を主にやっております。

野口 野口香織と申します。私は今年の1月に登録をしたばかりです。普段は日本橋にある化学メーカーの人事部に勤務しておりますが、今年で9年目になります。業務内容は給与事務全般を担当しております。

金綱 金綱孝です。社会保険労務士の試験を受験しましたが、今から4年前の平成14年です。駆け出しだすが、この業務は本当に守備範囲が広いなと感じながら、日々頑張っております。

春原 最初のテーマは、「社会保険労務士の資格」です。私と柏木さんは開業でやっていますが、違う立場の人が集まっていますので、その辺で資格をどのように活用しているのか。そして、今後どういった社会保険労務士となつていきたいか。大きさに言うと方向性みたいなものをテーマに話をしたいと思います。

柏木 就業規則というものに、非常に面白みを感じています。一部上場の会社で就業規則がしっかりしていても、現場の管理は行き届いていないことがあります。ならば中小企業で、社長の頭の中にルールがあって、職場には何もない。そういう現場においては、どんなことになっているのだろうというのが、私が社会保険労務士の勉強をするきっかけになりました。

春原 金綱さんは、お父様の社会保険労務士事務所で働かれています。いずれはお父様から引き継いで事務所の運営をされると思いますが、その辺りはどのようにお考えですか。

金綱 私と所長の得意分野は全く異なります。こう申し上げるのは生意気ですが、相互に補完できるような体制が取れれば、お客様にとってもプラスになるのではと考えています。経営者としては、まだまだ経験が浅いので、諸先輩方の経営スタイルなどを勉強させていただきながら運営できればと思っています。

春原 野口さんは、企業内での勤務社会保険労務士という立場です。気になるというか知りたいのは、企業の中で社会保険労務士という仕事が、どれだけ認知・確立された存在なのか。そういう点をお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

野口 単刀直入に申し上げますと、認知度は残念ながらほとんどないのが現状です。

春原 柏木さんは開業社会保険労務士として、勤務登録の方とはまた違った苦労があると思います。開業されて今日まで色々なご苦労があったと思いますが、特にこういうことが不満だとか、そういうお話をあれば。



柏木 私も6年営業をやっていたものですから、最初は何とかなると高をくくっていました。私は地元が東京都町田市なのですが、ここは飲食店が乱立するエリアで、激戦区となっています。1ヵ月経つと前はあった店がなくなっていました。何軒回ったか覚えていませんが、「社会保険労務士です」と言って分かってくださった社長さんは一人もいませんでした。

春原 次に、現在電子申請や規制緩和による市場化テストなど、社会保険労務士を取り巻く環境が目まぐるしく動いています。そうした中で、特定社会保険労務士制度が来年からスタートします。今は2回目の特別研修が行われています。

金綱 私は今の2回目を受講しています。皆さんご存じのように個別労働紛争が増えていますが、基礎的な知識を勉強することは自分にとって非常に大事だと思いますし、ADRに参加できるということも、ビジネスチャンスに繋がるだろうと思っています。依頼人の利益を守るという立場の仕事をするためには、最低限、身に付けておくべき知識があります。憲法や民法など、社会保険労務士の普段携わっていない法律がたくさんありますから、そういうことを勉強する意味では非常に有益だと思っています。

春原 柏木さんはいかがですか。

柏木 私も2回目で申し込みはしたのですが、今回はパスしました。今は顧問先のお客様のところにできるだけ顔を出して、就業規則をやっています。いずれ特定社会保険労務士の試験は受けようとは思いますし、それに向けた勉強は欠かさず行おうと思います。

春原 次に、私は勤務登録の方から何度か、支部の集まりや研修会は、他支部と比べて雰囲気的に別だというお話を伺ったことがあります。野口さんは、その辺いかがでしょうか。

野口 勤務社会保険労務士の参加者がどうしたら増えるのかという問題については、多分、時間帯ではなく、研修会および勉強会の中身だと思います。社会保険労務士業務に関連した内容ばかりではなく、社会で働く一人の人間として役立つような情報を必要としていると思います。そうした社会に密着したタイムリーで興味深い内容であれば、参加者が増えるのではないかと思っています。

春原 金綱さんはその辺りについて、支部の研修会や今回ののような例会に望むことはありますか。

金綱 年金の分割などは非常にタイムリーな話題で、中には難しい問題点もあります。あいいったことを、研修会に参加できなくても、資料を後でいただくとか、ちょっと教えてもらえると非常に助かります。

春原 柏木さんはいきなり開業されたということでしたが、例えば支部として、「開業したての社会保険労務士に対して、こういったバックアップがあつたらいい」とか、「オリ

- エンテーションをこうしてもらえると助かる」といったご要望はありますか。
- 柏木 千代田・中央支部は、1年目の者に対してもすごく温かく接してくださるし、質問すればきちんとお答えをいただけますので、私個人としては支部に要望することは特にありません。
- 春原 支部の組織が、具体的にどういったことをやっているのか、最近になってやっと少しわかつてきの状況で、その辺はもう少しオリエンテーションで広報したほうがいいと思います。とくに政連ですね。政連の会報が皆さんに届いていると思いますが、中を見ると何をやっているかがよくわかりません。「政治家といついつい会食をした」とか、そういうことは書いてあるのですが、では会食して何をしたかわからないというのが、これは4人の共通意見として出ました。支部長、その辺はどうでしょうか。支部の組織や仕組み、政連が実際にどういった活動をしているのか、理解できていない方が多いと思います。
- 支部長 東京会では、最初に入会した時にオリエンテーションがあります。支部でも例年2月に新規入会者のオリエンテーションをやっています。その時にお話はするのですが、出席されるのは新規入会者の1割くらいの方なので、残りの方はそういうものに接する機会がありません。会費制の組織というものは、その組織が実施する活動、例えば研修会に自ら参加して、初めてメリットが生まれます。参加しなければ、会費を払っているメリットはまず享受できません。会費未納の問題も、そういう所から出てくるのかという気がします。なるべく皆さんにご出席いただけるように、PRの仕方も考えていきたいと思います。
- 春原 次に、自分も含めた社会保険労務士の将来について、お話を聞かせいただければと思います。先ほどから、企業内での社会保険労務士の認知度があまり高くなないことや、営業で飛び込み訪問をしても、社会保険労務士がどういった業務をやっているのか、知らない事業主がほとんどであるというお話が出ました。社会保険労務士の社会的必要性のPRとか、認知度アップの活動というのは、どういったことができるとお考えですか。
- 柏木 これは多分、社会保険労務士会での未来永劫の課題だと思っています。個人個人が、自分ができる範囲内、各人の得意な業界・業種に地道に働きかけていく以外にないのではないでしょうか。
- 春原 金綱さんはいかがでしょう。
- 金綱 野口さんが日本橋でされた街頭相談は、中央区の区報などで住民の方や近隣の企業へ広告されているのですか。
- 野口 会社に通うのに日本橋駅を使っているので、毎日見していましたが、ポスターなどは一切貼っていませんでした。インターネットで「日本橋駅相談会」を検索してみても、関係ない大学の進路相談会などが出てくるのみです。ですからやはり、そういう所からこつこつとPRをしていくといいかなと思いました。
- 春原 やはりそういった地道な活動で認知度を高める必要があると思います。一人ひとりの社会保険労務士の日頃の活動も大切ですが、なかなかそれだけでは難しいことがあります。企業の人事担当者が、何か困った時に厚生労働省や社会保険庁のHPを開く際、そこに例えば千代田・中央支部のHPが3番目くらいに出てくるようなことになると、また違ってくるのかと思います。支部長、支部としてはその辺りをどのようにお考えでしょうか。
- 支部長 個人が事業所に対してPRする時に、社会保険労務士というのはこういう仕事をやりますではなく、逆に、「社長さん、今会社の経営でこういうことで困っていますか」と、自分の得意とする分野を個別書きにして、その悩みを解決するお手伝いをする。それが社会保険労務士です。支部のHPについては、ほかの支部などを見ると、ほとんどが外向けに作られています。当支部のHPは、会員への情報伝達手段として立ち上げました。外部に対してPRしていくのは今後の課題として、いくらでも拡張できるようなシステムになっていますから、それをやることは十分可能だろうと思います。
- 金綱 例えばブックオフは「中古の本を買い取ります」から「お売りください」という表現に変えて、売上を伸ばしました。同じことであっても、視点や角度を変えることによって、動きがあります。個人では難しいかもしれません、皆で知恵を結集して、私も力になればと思います。
- 春原 野口さんは給与計算業務がメインだとおっしゃっていましたが、自分の業務範囲の拡大を考えるということは、今のところはないですか。
- 野口 もっと幅広く業務を行っていきたいと思っているのですが、なかなか会社の体质も体质なので、私にやらせてくれと言っても、では明日からお願いするよ、というふうな流れにならないところが残念です。
- 春原 最後は皆さんに、「5年後の自分は、社会保険労務士としてこういう風になっている」というイメージをお聞かせいただけたとありがたいです。
- 柏木 「企業における労働時間の管理」は、これからも企業が存続する以上、未来永劫続く問題であり、「労働者の精神的健康管理」という考え方も今後ますます一般的になっていくと思っています。ですから5年後は就業規則と併せながら、そちらのほうで社会保険労務士と衛生管理者をうまく組み合わせて、その分野である程度の地位まで昇り詰めたいです。
- 野口 私が社会保険労務士に登録している意義は、自己啓発やキャリアアップであると申し上げましたが、やはり社内でもこの資格を使って活躍できたらと思います。もし5年後も現在の会社に勤めているのであれば、その時には自分が社会保険労務士であるということを最大限に生かし、社内では今以上に活躍していきたいと思います。
- 金綱 これからはどんどん契約社会になっていく、企業と社員の契約という認識が強くなってくるのだろうと思います。それに対して相談を受けた時に、きちんとアドバイスを差し上げられるような、そういう知識や技術を持っていただきたいと思います。
- 春原 千代田・中央支部は、やはり会員数が多いですし、成功されている先生方が、すぐ目の前にいたりします。ですから、少し先の自分を、すごくイメージしやすい環境にいると思います。その時その時に、身近な先生を目標にして、何年か後にはあの先生みたいになりたいということを、常に思っています。
- 色々夢もあり、希望もあり、悩みもありの、4人の話でした。今後、今までの諸先輩方の作られた伝統ですとか歴史をきちんと受け継ぎながら、また新たな社会保険労務士としての世界を切り開いていなければいい。何年か後には千代田・中央支部の中心的な役割を果たせるようになればと思っています。
- 長い間でしたが、ご清聴ありがとうございました。(拍手)

# 千代田・中央支部 選挙管理委員会報告

今回、支部長理事として、2名（恩田和明、瀬君江）の方が立候補されました。11月22日(水)に、支部会員による投票が行われ、

投票総数 246票

瀬君江 135票

恩田和明 108票

無効 3票

の結果となり、次期支部長理事として 瀬君江会員が選出されました。

支部長理事当選者	11 半沢 公一 12 藤田 僚 13 味園 公一 14 森 俊介 15 渡邊 和洋	代議員当選者	8 石上 均 9 石川 英豊 10 石原美由紀 11 太田 雅美 12 大畠 雅弘 13 岡田 健一 14 小高 東 15 加藤 孝 16 川澄 佳美 17 小林 幸雄 18 小松 紀子 19 小室 豊 20 酒井 典子 21 酒井 裕樹 22 椎野登貴子 23 嶋倉 貞男 24 鈴木 啓之 25 鈴木 俊男 26 春原 繁 27 関根 康 28 根 祐司 29 滝口 修一 30 田中 幸夫 31 寺尾 勝汎 32 戸室 康廣 33 長森 信行	34 野口 香織 35 府川 洋輔 36 藤元 利澄 37 藤原 伸吾 38 本間 邦弘 39 牧野 武夫 40 増田 瑞恵 41 松林 清雄 42 松本 肇 43 横尾 直子
			(五十音順・敬称略)	

## 地区別・種別投票者数

	麹町地区	神田地区	日本橋地区	京橋地区	合計
開業	48 19.5%	44 17.9%	19 7.7%	31 12.6%	142 57.7%
勤務	33 13.4%	26 10.6%	11 4.5%	34 13.8%	104 43.3%
合計	81 32.9%	70 28.5%	30 12.2%	65 26.4%	246 100%

## 平成18年度街頭相談実施

さる10月18日(水)、東京メトロ日本橋駅において、中央地区協議会（千代田・中央支部、文京支部、台東支部）主催で、労働・社会保険の街頭相談を実施しました。

場所	東京メトロ日本橋駅コンコース
時間	午前9時30分～午後4時
相談員	午前 菊地正範、森下健一 午後 山岸弘美、野口香織
相談者数	68人
	相談件数 81件

また、当日は以下の皆様に街頭相談コーナー応援者としてご協力をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

渡邊和洋 瀬君江 半沢公一 玉田壌三  
小林包美 恩田和明 根祐司 段下正志

## 新入会員を紹介します

入会年月日	氏名	地区	形態	入会年月日	氏名	地区	形態	入会年月日	氏名	地区	形態
H17.4.1	三田 正子	京 橋	勤 務	H18.8.16	福島 敏男	麹 町	勤 務	H18.9.1	家原 理	神 田	勤 務
H17.12.1	磯村 由香	麹 町	勤 務	H18.8.31	兼田 正廣	麹 町	勤 務	H18.9.1	岡 弘己	神 田	勤 務
H18.4.1	浅野 寿夫	麹 町	法 人 社 員	H18.8.31	兼田 宗広	麹 町	勤 務	H18.9.1	岡部 大介	神 田	勤 務
H18.7.1	天野 靖	麹 町	勤 務	H18.9.1	乾 嘉宏	麹 町	勤 務	H18.9.1	鈴木 祐子	神 田	勤 務
H18.7.1	藤本 友久	麹 町	開 業	H18.9.1	伊原美津穂	麹 町	勤 務	H18.9.1	田中 治平	神 田	勤 務
H18.7.1	鈴木 順江	神 田	勤 務	H18.9.1	宇津木 彰	麹 町	勤 務	H18.9.1	辻 高志	神 田	勤 務
H18.7.1	中島 崇雄	神 田	開 業	H18.9.1	香川 秀之	麹 町	勤 務	H18.9.1	富井 達勝	神 田	勤 務
H18.7.1	井上 大輔	日本橋	勤 務	H18.9.1	川合 昇	麹 町	勤 務	H18.9.1	星野 正剛	神 田	勤 務
H18.7.1	宇田川 健一	日本橋	勤 務	H18.9.1	君島 文枝	麹 町	勤 務	H18.9.1	山 飯塚 武夫	神 田	勤 務
H18.7.1	綾垣 博司	京 橋	開 業	H18.9.1	小池 香織	麹 町	勤 務	H18.9.1	木村 公子	日本橋	勤 務
H18.7.1	中山 博	京 橋	勤 務	H18.9.1	小築 麻世	麹 町	勤 務	H18.9.1	小笠原 賢	日本橋	開 業
H18.7.28	浅岡 純朗	神 田	勤 務	H18.9.1	林 直子	麹 町	勤 務	H18.9.1	坪内 俊博	日本橋	勤 務
H18.7.31	竹上晋太郎	京 橋	開 業	H18.9.1	福島 弘道	麹 町	勤 務	H18.9.1	松井 千景	日本橋	勤 務
H18.8.1	増田 徳子	麹 町	勤 務	H18.9.1	松田 恒男	麹 町	勤 務	H18.9.1	御代田慶子	日本橋	勤 務
H18.8.1	西山 健一	麹 町	開 業	H18.9.1	三島わかな	麹 町	勤 務	H18.9.1	荒巻 和夫	京 橋	勤 務
H18.8.1	松原由香利	麹 町	法 人 社 員	H18.9.1	峯田あずさ	麹 町	勤 務	H18.9.1	宇津 明	京 橋	勤 務
H18.8.1	鈴木 佳子	神 田	勤 務	H18.9.1	向井 修	麹 町	勤 務	H18.9.1	木下 志乃	京 橋	勤 務
H18.8.1	岩田 篤	日本橋	勤 務	H18.9.1	望月 淨	麹 町	勤 務	H18.9.1	中田 元道	日本橋	勤 務
H18.8.1	高橋 貴子	日本橋	勤 務	H18.9.1	森下 洋	麹 町	勤 務	H18.9.21	藤田 僚	神 田	勤 務
H18.8.1	吉田 清治	日本橋	開 業	H18.9.1	山本 喜一	麹 町	勤 務	H18.9.29			
H18.8.1	花井 洋達	京 橋	勤 務	H18.9.1	米本 浩章	麹 町	勤 務				

# 平成18年度千代田・中央支部管外研修報告

広報委員 戸室 康廣

今年度の「支部管外研修」は、平成18年10月13日～14日、神奈川県箱根町強羅の「東京都報道事業厚生年金基金・ごうら山荘」にて、39名の方が出席されて開催されました。

現在、我々社会保険労務士の間では、「特定社会保険労務士の試験」が最もホットな話題となっておりますが、今回の研修テーマはこの話題に関して、「特定社会保険労務士試験 - 体験アラカルト - 」と題して、渡邊和洋氏、玉田壊三氏、府川芳江氏の3名がパネリストになり、パネルディスカッション形式で行われました。

冒頭に渡邊支部長から話された、第1回目の特定社会保険労務士試験の概要によれば、受験者数が3,117名、合格者数が2,368名、合格率は約76%でした。

パネリスト3名の感想、および次回受験される方々へのアドバイス等々の要約は、以下のとおりでした。

1. グループ討論が楽しかった。また、グループ討論のグループ長を経験したが、大変よい経験をしたと感じた。ちなみにグループ長の経験者のうち、50%が合格している。
2. グループ討論は相手の話を聞くことが大切。自分の言いたいこと、相手の言いたいことが、50対50になるように心がけることがとくに大切だと思った。
3. 記述式の解答は規定の字数が決まっており、定められた字数以内で解答しなければならない。字数不足は理解していないと解され、字数オーバーは説明不可と解される。解答内容とともに制限字数内で解答することが大切である。
4. 記述式の試験時間には2時間という時間制限があり、タイムオーバーになりやすい。時間配分には十分注意をする必要がある。
5. 解答の見直し・訂正が必要な場合、筆記用具がボールペンのみ使用のため、訂正が利かず、慎重に解答する必要がある。



6. あっせん代理業務は相当難しく、自分自身で実行しないと理解できないと感じた。

この試験については、皆さんやはり関心が高く、参加者から多くの質問があがり、白熱した意見交換がなされました。

次回の特定社会保険労務士試験を受験される方にとっては、大変参考になられたでしょう。パネリストの先生方、お疲れさまでした。

研修会終了後は、各自温泉に浸かったり、部屋に戻りくつろいだりした後に、待ちわびていた懇親会が開催されました。冷えたビールや数々の美味しい料理を頬張り、さらにbingoゲーム等で大いに盛り上りました。

今回初参加の神妙な顔で挨拶された方、満面の笑顔で挨拶された方も、楽しいひと時を過ごされたことでしょう。

懇親会がお開きの後、各自の部屋で酒を飲み交わして親睦を深めた方、またカラオケを楽しむ方が多くおられたと聞きました。

最後に、今回の支部管外研修旅行の企画・実施をしていただいた、厚生委員の皆様のご尽力に深く感謝いたします。ありがとうございました。

## 中央地区協議会必須研修会が開催されました

平成18年11月15日(水) 午後1時30分～4時30分の昼の部と、午後5時30分～8時30分の夜の部に分けて、中央地区協議会の必須研修会が総評会館で開催されました。

テーマの1つは「医療保険制度改革について」で、講師の千代田社会保険事務所業務次長の鈴木良二氏から、平成18年6月に改正された、医療保険各法の中の健康保険制度の改正を中心に、施行実施スケジュール(平成18年10月、平成19年4月、平成20年4月、平成20年10月、そして平成24年4月と段階的実施)に即してその内容について詳細に説

明がなされました。

その後に、2つ目のテーマ「人事考課における留意点～評価者の心構え～」と題して、講師のヒューマンテック経営研究所所長の藤原久嗣氏から、人事考課の意義・目的、人事考課のしくみと留意点、目標管理制度と考課結果のフィードバックなど、藤原先生の豊富な実績を生かした内容で行われました。

当日の参加者は、3支部総計が602名、当支部からは442名の会員が参加しました。

# ゴルフ 同好会報告

千代田・中央支部ゴルフ同好会 味園 公一

今回は、昨年10月3日(火)に開催された「東京都社会保険労務士会ゴルフ大会」での同好会メンバーの活躍と、同11月9日(木)に開催された「平成18年第4回支部ゴルフ大会」の結果をお知らせいたします。

## 東京都社会保険労務士会ゴルフ大会

前日までの雨が嘘のように晴れわたり、秋というのに蒸し暑い陽気の茨城県千代田カントリークラブで、東京都社会保険労務士会ゴルフ大会が盛大に開催されました。東京会各支部からの参加者の他、近県の社会保険労務士会のゴルフの精鋭が総勢111名参加され、皆和気あいあいの中、優勝を目指して熾烈な熱戦となりました。

その中で、なんと!! 当ゴルフ同好会のメンバーが見事活躍し、個人戦(新ペリア方式)の総合優勝、準優勝、女子第3位、シニアベスグロ、団体戦優勝と極めて優秀な成績を収めました。皆さん、おめでとうございます。

## 平成18年第4回支部ゴルフ大会

当同好会は、ここ数年ゴルフ大会を年3回のペースで開催していました。しかしそこはゴルフ好きの集団。昨年は年4回大会を開催し、今後もこのペースを守っていく予定です。

千代田・中央支部に在籍するゴルフ好きの皆さん、ぜひ当ゴルフ同好会に入会して、社会保険労務士の友好の輪を広げていきましょう。入会希望の方は、同好会幹事・春原先生(03-3556-5556)までご連絡ください。1月24日(水)先、千葉で開催いたします。

### 【大会結果】

(於)千代田  
カントリークラブ

総合優勝	山本弘之(Net 71.0)
準優勝	味園公一(同71.6)
女子第3位	赤松ハルミ(同77.6)
シニアベスグロ	山本金治(Gross 83)
団体戦優勝	中央地区協議会(山本弘之 山本金治 味園公一 山本勇(台東支部))

山本金治先生は、ベスグロの他にドラコン賞、ニアピン賞も獲得。

その他の同好会メンバーも各自実力を発揮し、「千代田・中央支部ここにあり」とゴルフにおいてもその存在を示しました。

### 【大会結果】

(於)太平洋クラブ&  
アソシエイツ江南コース

優勝	半沢公一
準優勝	寺田晃
第3位	小田一秀(ベスグロ)
ドラコン	半沢公一、小田一秀
ニアピン	西村治彦、半沢公一、 小田一秀、石原俊介



## 支部IT化経過報告

千代田・中央支部 IT委員会 副委員長 夏坂 由季子

メールアドレス  
登録に  
ご協力ください

### メールアドレスの登録状況 (平成18年12月10日現在)

		麹町地区	神田地区	日本橋地区	京橋地区	合計
開業	登録者数	109	90	58	65	322
	登録率	76.2%	77.6%	78.4%	69.9%	75.6%
勤務	登録者数	248	129	124	123	624
	登録率	56.2%	57.6%	64.6%	56.7%	58.1%
合計	登録者数	379	235	184	192	990
	登録率	62.3%	65.8%	68.1%	61.0%	63.9%

## あとがき

新年あけましておめでとうございます。

先日TVを見ながら、ふと「平和」について考えてみた。辞書で言葉の意味を調べてみると「安らかに和らぐこと。穏やかで変わりのないこと。戦争がなく世が安穏であること」と書いてあった。今の日本、いや世界は平和なのでしょうか?

答えは当然「NO」だ。相変わらず世界中でテロや紛争は続いているが、武力による争いが激化しており、日本の周辺でも火薬の臭いがしてくる今日この頃。外国から見ればまだ平和かもしれない、我が国はどうであろう。TVをつけると毎日のように起きる殺人事件、親による子への虐待、すぐ切れる体格だけは大人の子ども、役人の汚職、私利私欲のため、人を騙す人々。

そして子ども達のいじめによる自殺・・・挙げれば挙げるほど今の日本に犯罪は溢れその内側は病んでいるのであろう。明るいニュースが本当に少なくなってしまった。

この国の大人達は一体何をしているのであろうか?

子ども達への犯罪を世の大人達は一人ひとりが責任をもって食い止めなければならない。もう任せにしてはいけない。

幼い子ども達がいじめや虐待を受け自殺や殺害されるような世の中であっては断じてならない。

新しい年は日本をはじめ世界中の子ども達の笑顔の絶えない、平和な一年であるように心から切に願う。

原田 幸治